

株式会社川賢



私たちは、平坦な土地と豊富な水量に恵まれている青森県三沢市で養豚・養鶏農場と飼料販売業を営んでいます。

畜産物の国際競争や公害などの様々な問題で小規模生産農家の廃業が相次ぎ、大規模農場と中小農場との二極化が進む現代。このような状況の中、弊社では常に時代の先を見つめて、飼料や生産物の価値を追い求めてきました。

さらに単なる物売りの立場に留まることなく、地域の方々との信頼関係を築きながら顧客のニーズに応えています。

農業に携わる方を含め、地域の方々の力を育んでいき、より良い暮らしの実現に貢献する。弊社はこの使命を果たすため、今後も固定概念に縛られることなく未来を見据えて前進していきます。

概要

商号	株式会社 川賢	商号	株式会社 川村農場
事業内容	飼料販売、肉豚の生産、鶏卵の生産	事業内容	肉豚の生産
設立	昭和51年	設立	平成30年5月
資本金	4,400万円	資本金	1,760万円
売上高	178億円 (令和6年度)	売上高	14億円 (令和6年度)
所在地	〒033-0021 青森県三沢市岡三沢2-8-7	所在地	〒033-0021 青森県三沢市岡三沢2-8-7
電話番号	0176-53-4080	電話番号	0176-53-4080
代表者	代表取締役社長 川村 高明	代表者	代表取締役社長 川村 高明
従業員数	82名	従業員数	14名



webサイト



Instagram



Youtube

沿革

昭和51年	7月	株式会社川賢設立
昭和59年		SPF第1農場(母豚500頭)完工、SPF第2農場(母豚600頭)完工
平成2年	11月	本社事務所完成
平成3年		SPF第3農場(母豚800頭)完工
平成5年	9月	第2代社長 川村 れい子就任
平成10年	12月	ポートリーファーム部門新設
平成19年	6月	第3代社長 川村 高明就任
平成27年	7月	SPF農場からインジーンファームへ名称変更
平成29年	12月	カワケンポートリーが農場HACCP認証農場の認証を受ける
平成30年	5月	農業法人川村農場の組織を変更して株式会社化、それに伴い株式会社川賢の子会社へ
令和元年	12月	川村農場が農場HACCP推進農場の指定を受ける
令和2年	8月	株式会社川賢及び株式会社川村農場が健康宣言を行う
	9月	株式会社川賢及び株式会社川村農場が「あおり働き方改革宣言企業」として登録される
	10月	株式会社川賢が地域未来牽引企業に選定される
	11月	株式会社川賢が「あおり働き方改革推進企業」として認証される
令和3年	1月	株式会社川賢が「青森県健康経営事業所」として認定される
	3月	株式会社川賢が事業継続力強化計画の認定を受ける
	9月	インジーンファーム谷地頭・インジーンファーム高野沢農場が農場HACCP認証農場の認証を受ける
令和5年	8月	株式会社川賢が「あおりECOにこオフィス」として認定される
令和7年	3月	日本健康会議から「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」の認定を受ける
	5月	株式会社川村農場が事業継続力強化計画の認定を受ける

品質に妥協なし。

挑み続ける畜産へ。

想いはひとつ シンプルに 動物が好きだ



株式会社川賢

養豚事業部

高い生産性と健康に育った安全な豚肉作りの両立

母豚にWL、ヨークシャー種 × ランドレース種、雄豚にDデュロック種をかけあわせたWL × D三元交配の豚を生産しています。農場経営の基本である衛生管理は、指定管理獣医師の指導のもと、健康な豚の生産を最も重視しています。抗生物質等の利用を最小に抑えるためのモニタリングと残留注射針等、危害要因の徹底した管理により消費者の皆さんに安心して頂ける安全な豚肉を生産しています。

なお、その豚肉は、肥育期にニンニクを添加したこだわりの飼料を与えて育てることにより、『国産こだわりポーク』という銘柄豚として、大手食肉商社を通しお客様に届けられ好評をいただいております。



『国産こだわりポーク』おいしさの特長

- ・加熱しても柔らかくおいしい。
- ・保水性が高いため旨味を逃がさず調理できる。
- ・赤味の部分に適度な脂肪が含まれていてジューシー。
- ・肉質がきめ細かくやわらかな食感。
- ・冷めても固くならずおいしい。
- ・脂肪は白くあっさり。
- ・豚独特の臭みがない。



一頭でも多く健康な豚が生まれるよう、技術を高める

ほぼ毎日行う助産の他にも、たくさんの仕事があります。生まれたての子豚が冷えないように粉をまぶして乾燥させたり、ワクチンを接種したり、おいしいお肉にするために生後間もなく去勢したり。

産まれてきた子豚は20日間ケアしますが、子豚は豚舎の温度が暑くても寒くても下痢をしてしまうデリケートな動物です。豚舎の適正な温度を保つため細心の注意を払います。養豚の魅力は「普段食べているものがどうやって生産されているか理解でき、命の大切さに気付くことができる」こと。

仕事はチームワークがとても大切で、一頭でも多く健康な豚が生まれてくるようスタッフ一同頑張っています。

チームワークを大事に母豚の助産に全力で挑む

豚肉を生産する養豚業は、大きく分けて、繁殖と、肥育の2つに区別できます。

養豚業で最も重要なのは、豚舎に病気を持ち込まないこと。スタッフは助産をはじめとするさまざまな作業においてチームワークを重視し、健康な豚を生産するために頑張っています。

豚肉の生産サイクルは、人工授精してから約114日の妊娠期間を経て出産。約20日間の哺乳後、生後170日程度で、肉豚として出荷されます。母豚の出産は自然分娩で3時間、難産だと倍以上の時間がかかります。平均16頭の子豚が5分単位で生まれてきます。

出産時間が長くなると窒息してしまう子豚もいるので10分に出て来なかった場合スタッフが助産します。助産に加え、よりよい母豚を生産するため、どれとどれのかけ合わせがいいか一頭一頭細かくチェックし、タッグを打つ作業も行っています。

母豚の顔って鼻が短かったり長かったり同じように見えても微妙に違います。初産の豚から何度も生んだ母豚まで触っても嫌がらないんですよ。助産では豚のおなかの中が見えないので大変ですが、私たちが経験したすべてのことを伝えていきたいと思っています。

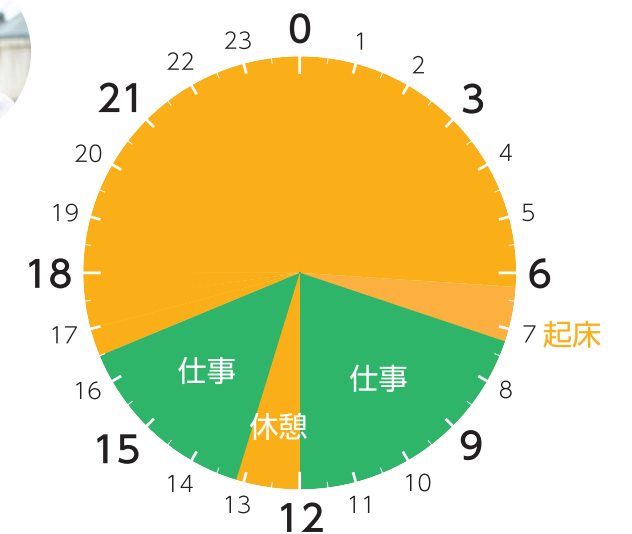


生まれたばかりの可愛い子豚

スタッフ織川恵美さんのある1日のお仕事



7:00	起床
7:15~ 7:50	自宅から農場へ。
7:50~ 8:00	シャワー後、つなぎに着替えて仕事開始。
8:00~ 9:00	母豚、子豚への給餌。異常豚の見回り。
9:00~12:00	分娩や去勢など(曜日で異なる)
12:00~13:10	休憩
13:10~16:30	午前中の続きの作業、片付け・作業報告書の作成など。
16:30	帰宅



生まれたての子豚が冷えないように専用の粉をまぶして乾燥



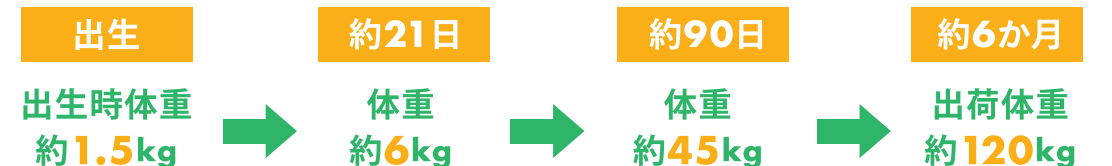
出生した子豚



子豚へワクチン接種



ぶたの一生



生まれた子ぶたは、約3週間母ぶたの乳を飲みます。その後は、どうもろこしなどのえさを食べて成長します。生後6か月程度で120kgまで大きくなり、ぶた肉として出荷されます。

営業部

質の高い飼料をつくり、活かすために

弊社は創業以来、地域との信頼関係を築き上げながら質の高い飼料を供給し続けてきました。九州や関東が日本における畜産の中心であった時代は移り変わり、弊社エリアは新しい畜産地域でありながら八戸コンビナートの完成により流通において立地的にも恵まれ飼料の確実な安定提供を実現しています。今後も地域農家の皆様と連携をとり、消費者のニーズに適合した安全で経済性の高い飼料の供給に努め、販売ルートの拡大にも取り組んでまいります。

また、平坦な土地と豊富な水量に恵まれている青森県三沢市は安全で美味しい生産物をつくる条件に恵まれているため、この土地の特長を活かした野菜づくりなどの新しいビジョンも見え始めています。農場から毎日出ている良質な堆肥を活かした資源循環型の農業を推進していきます。

営業のお仕事(豚担当の場合)

- ・既存生産者の農場巡回
- ・飼料販売及び納品フォロー
- ・肉豚販売のフォロー、出荷成績の確認
- ・農場成績改善のためのサポート
- ・畜舎や設備の新築・改修のサポート
- ・採血の手伝い ・種豚導入の手配
- ・増頭計画等のサポート

営業のお仕事(牛担当の場合)

- ・既存生産者の農場巡回 ・出荷選定
- ・出荷手配・立会い ・素畜導入立会い
- ・牛の移動 ・枝肉の評価、格付の確認
- ・治療や採血などの手伝い ・市場同行
- ・その他牛に関すること
(除角の手伝い、紙袋や添加剤の配達など)

営業の仕事は飼料販売以外にも様々あり、生産者の収益アップにつながる事であれば何でもお手伝いします。生産者がそれぞれ抱えている課題を上司や取引業者等と協力して改善するサポートをします。生産者と共通の目標に向かって歩み、達成したときの喜びは格別です。



配合飼料について

配合飼料とは家畜が十分成長できるように様々な原料を配合した、栄養バランスの取れた飼料のこと。

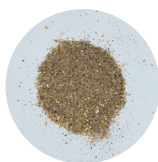
製品ごとに、家畜の種類や成長段階に合った栄養バランスとなるように、様々な原料の配合率を考えて作られている。

また、食べやすく、消化・吸収しやすいように家畜の種類や成長段階に合わせて飼料の形状や大きさを調整している。

【配合飼料の原料】
とうもろこし・小麦・マイロ・大豆油かす・ふすま など

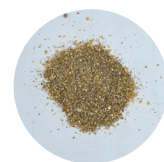
飼料の例(豚の場合)

①育成期用



母豚となるべく育てられている豚に与える。

②妊娠期用



妊娠中の母豚に与える。胎児の発育と母豚の体調をコントロール。

③授乳期用



授乳中の母豚に与える。母乳の分泌が盛んになる。

④人工乳前期



生後約10～35日齢の子豚に与える。

⑤人工乳後期



生後約36～70日齢の子豚に与える。

⑥子豚用



生後約71～120日齢の豚に与える。

⑦肉豚用



生後121日齢から出荷まで与える。

鈴木 裕之

(平成18年入社)

豚の飼料販売の営業をしています。



生産者の課題と一緒に解決「ありがとう」が原動力

〈業務内容〉

飼料メーカーより供給される配合飼料(豚)の販売営業です。営業と言うよりは、「何でも屋」の方が正しいです。日々、生産者の方達を訪問し、生産者が直面している課題と一緒に解決して、生産者が儲かっていく道筋を付けていく仕事です。

勉強することは多岐に渡り、豚のこと、流通、建築土木、糞尿処理など挙げればきりがありません。

自分ではできないことには限りがありますので、サポートしてくれる仲間、業者とのお付き合いも非常に大切です。配合飼料は毎日使うもので、継続的な取引が前提となるため、生産者の良き相棒として、日々の情報収集は不可欠です。

＜やりがいと苦労＞

生き物相手ですので、生産現場では思い通りいかないことが多いです。その中で持っている知識や経験をもって、生産者の課題を解決できた時は、やりがいを感じます。

スタッフ坪拓也さんのある1日のお仕事

- 8:00 | 出社
- 8:30 | デスクワーク・打ち合せ後、出発
- 9:30 | 生産者訪問、牛の状態チェック、納品・出荷フォローなど
- 12:00 | 昼食・休憩
- 13:00 | 生産者訪問、牛の状態チェック、商談や作業フォローなど
- 16:30 | 帰社、デスクワーク
- 17:00 | 帰宅



デスクワーク



飼料・紙袋の積み込み



生産者との打ち合わせへ出発

坪 拓也

(平成23年入社)

牛の飼料販売の営業をしています。



2年後にいい牛ができた実感。飼料販売を通じて「健康な牛づくり」

〈業務内容〉

基本的に飼料を販売している農場を回ります。他の営業と大きく違うところは、相手が動物(私の場合は牛)ということです。農場では、牛舎を巡回し、牛の状態をチェックし、異常のある牛がいた場合、生産者と話し合い、治療などの手伝いをする時もあります。よって、多少、体力が必要な仕事かもしれません。また、飼料の販売だけでなく、お客様の育てた牛の出荷業務もやっています。

＜牛営業の魅力＞

私たちが普段、目にする国産の牛肉は、店頭に並ぶまで約2年かかります。その2年間、自分の販売している飼料でどんな牛が出来るか、生産者と色んなことを話し合い、2年後、どんな牛が出来上がるのか、そういうところに仕事の魅力を感じます。勿論、飼料の販売がメインなので、新規先を何回も訪問し、自分の紹介した飼料を使ってもらい、いい牛が出来たと生産者に喜んでもらえるのもこの仕事の魅力です。飼料販売は、生産者との距離が近い分、すごくやりがいを感じる仕事です。



養鶏事業部

カワケンポトリは、農場HACCP認証農場です。

1998年青森県上北郡おいらせ町鶏久保山に新規事業として立ち上げ、インラインによるトータルシステムを導入した農場です。

最大収容可能羽数30万羽の鶏舎に、サルモネラ陰性の清浄雛を生後120日前後で導入し、衛生的な環境で飼養管理されて毎日12～14トンの卵を生産しています。

生産された卵は、機械により自動で集卵され、HACCP方式を導入したGPセンターで衛生的にパッキング製品化され、青森県内や関東方面に流通しています。2017年12月8日に農場HACCPの認証を取得しています。

たまごの出荷までの流れ

鶏舎から自動でGPセンターに「たまご」が集められ、洗浄・殺菌し、外観や内部を特殊な検知装置でチェック、重量を計測後に各サイズに振分けられパッキング製品化され出荷

STEP
01



STEP
02



STEP
03



STEP
04



【ポトリ】のお仕事

約30万羽の採卵鶏を飼育管理する仕事(9棟全ての鶏舎で同じことを行う)

- ◎見回りを行い、採卵鶏の健康状態を確認する。
- ◎自動給餌機が正常に稼働しているか、エサが出ているかを確認する。
- ◎給水機が正常に稼働しているか、水が出ているか確認する。
- ◎採卵鶏が快適に過ごせるように、鶏舎内の温度や湿度を管理する。
- ◎ハエが発生しないように、鶏舎内を清掃し清潔に保つ。
- ◎自動給餌機、給水機、換気ファン、集卵設備、集糞設備などに異常がないか確認する。異常がある場合は修理する。
- ◎1日の死んだ採卵鶏の数やエサを食べた量、温度や湿度など日報を記録する。
- ◎日々の成績グラフを記入する。

【GPセンター】のお仕事

ポトリで産まれた卵を、機械を操作して集卵する仕事

- ◎機械を操作・設定して集卵する鶏舎と製造する商品を決める。
- ◎ヒビが入っている卵や汚れがついている卵を取り除く、集卵機にトレイを設置する、集卵機がトレイに入れた卵を段ボールに詰める、集卵機が製造した10個入りパックを段ボールに詰める、など配置によって作業が異なる。
- ◎月に1回、ポトリの鶏舎9棟それぞれから10個ずつ卵を回収して、卵殻の強度チェック、卵白や卵黄の品質検査を行う。



ポトリ内沢隆聖の
1日のお仕事

- | | |
|-------|----------|
| 8:00 | 担当鶏舎の巡回 |
| 11:00 | 日報等の書類作成 |
| 12:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00 | 鶏舎内清掃作業 |
| 15:00 | 集卵設備清掃作業 |
| 16:00 | グラフ等の記録 |
| 16:30 | 帰宅 |



GPセンター土井利也の
1日のお仕事

- | | |
|-------|----------------|
| 8:00 | 資材準備・商品切替 |
| 9:00 | 出荷作業・集卵切替・個数記録 |
| 11:00 | 日報等の書類作成 |
| 12:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00 | 出荷作業・集卵切替・個数記録 |
| 16:00 | 清掃作業 |
| 16:30 | 帰宅 |

生産物管理部

安全・安心な畜産物を生産するために

生産物管理部は、養豚飼養管理ソフトへ農場データの入力、集計データの確認、肉豚出荷成績表の作成などがあります。

また、各農場の検討会に出席し豚(肉豚)・鶏(鶏卵)の飼養衛生管理状況の確認、鶏卵の細菌検査結果、品質検査結果の確認を行っています。

農場HACCP事務局としてインジーンファーム谷地頭農場、高野沢農場、カワケンポトリのHACCP内部監査を実施、指摘項目に対する改善のため、HACCPミーティングで作業手順の見直し等を行っています。



業務部

本社として業務・経理を行い各部門をサポート

業務課

業務部業務課は、各部門に関わる業務全般を行っています。具体的には、関係機関へ申請書等の提出、社内会議の資料作成・出席・議事録作成、忘年会や畜霊祭といった会社行事の企画運営、求人票の作成や学校訪問・企業説明会などのリクルート活動などがあります。

経理課

業務部経理課は、各部門に関わる経理全般を行っています。具体的には、経理システムを使用して売上や経費の伝票入力、販売管理システムを利用した飼料の受発注や請求書の作成、勤怠管理システムを利用した給与計算や労務管理などがあります。その他、直営農場から出荷した肉豚・鶏卵・堆肥の集計や生産者の肉豚・肉牛の委託販売及び精算なども行っています。

